

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月 23日

枚方市長 殿



提出者 住 所 大阪府枚方市長尾峠町15番1号
氏 名 プライムデリカ株式会社枚方工場
工場長 花牟礼 章
電話番号 072-866-8989

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プライムデリカ株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市長尾峠町15番1号
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：76億4,040万円
③従業員数	900人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">○汚泥 ⇒ 肥料化 ⇒ 肥料売却○廃プラスチック類 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立○廃プラスチック類 ⇒ RPF化 ⇒ 燃料売却○動植物性残さ ⇒ 飼料化 ⇒ 飼料売却○動植物性残さ ⇒ 肥料化 ⇒ 肥料売却○金属くず ⇒ 破碎 ⇒ リサイクル販売

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・管理組織：工場長を責任者とし、その下に製造部・品質管理課・商品開発課・総務課・施設課・仕入課が並列されている。廃棄物の管理は仕入課が担当している。
- ・教育研修：社員に対しては直近の廃棄状況を隨時連絡し、共通認識としながら減量意識を高めている。パート従業員については、朝礼等で分別廃棄の方法を指導している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量		17 t	486 t
②計画	(これまでに実施した取組) 生産管理システムに基づいて生産を行い、無駄な廃棄が出ないようにする。 廃棄物管理会社と提携し、動植物性残渣の排出量抑制の仕組みを構築した。		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量		15 t	480 t
(今後実施する予定の取組) 生産管理システムに基づいて生産を行い、無駄な廃棄が出ないようにする。 廃プラスチック類の有価売却への方法を検討する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、廃プラスチック類、金属くず、汚泥を分別・保管
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 水銀を含む蛍光灯の分別など細分化を検討する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

金属くず	動植物性残渣		
184 t	1970 t	t	t

②計画

金属くず	動植物性残渣		
180 t	1970 t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	t
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	t
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	t
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(これまでに実施した取組) 動植物性残渣の中から野菜くずを分別 し脱水減量を行う。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	t
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(今後実施する予定の取組) 野菜くずの分別と脱水減量の継続			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成27年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	別紙のとおり	t
(これまでに実施した取組) 処理委託業者への現地確認の実施			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	別紙のとおり	t
(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への現地確認実施継続			
※事務処理欄			

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【平 成 27 年 度】 実 績

口 口 号	6 月	口 口 号	口 口 号	口 口 号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を扱う事業者を取扱方に管轄する支店の住所	産業廃棄物を扱う事業者を取扱方に管轄する支店に管轄する支店の住所	管轄される店舗の名前	管轄される店舗の名前	管轄される店舗の電話番号		
大阪府立方木販売所15番1号	プライムリサイクル販売部 支方支局	8165				

産業廃棄物の種類 コード	1) 廃 物 の 回 改 制												(①=②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬)		2) ④⑤ のうち再利用又は 回収処理を行った量		
	①回収量	②回収 再生利用上手 いき度	③回収業者 回収又は販売 した者の区分	④回収された量 が行われた場 所の区分	⑤回収された量 が行われた場 所の区分	⑥回収された量 が行われた場 所の区分	⑦回収された量 が行われた場 所の区分	⑧回収された量 が行われた場 所の区分	⑨回収された量 が行われた場 所の区分	⑩回収された量 が行われた場 所の区分	⑪回収された量 が行われた場 所の区分	⑫回収された量 が行われた場 所の区分	⑬回収された量 が行われた場 所の区分				
産業廃棄物の種類 コード	発生した産業廃棄物 が発生したと見 た場合にこの量 が生じた量	1)の量のうち、中口 で記載せず直接自 由に記載した量	1)の量のうち、自 由に記載した量	1)の量のうち、自 由に記載した量	1)の量のうち、自 由に記載した量												
12010汚泥	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	0	0	
20604安プラスチック類	425	0	0	0	0	0	0	0	0	425	384	0	0	123	0	343	
31000動植物性残さ	1,970	0	0	574	0	144	431	0	0	1,540	1,540	0	0	0	0	0	
41210金属くず	184	0	0	0	0	0	0	0	0	184	184	0	0	0	0	21	
5										0	0					0	
6										0	0					0	
7										0	0					0	
8										0	0					0	
9										0	0					0	
10										0	0					0	
11										0	0					0	
12										0	0					0	
13										0	0					0	
14										0	0					0	
15										0	0					0	
16										0	0					0	
17										0	0					0	
18										0	0					0	
19										0	0					0	
20										0	0					0	
合計	2,657	0	0	574	0	144	431	0	0	2,227	2,105	0	0	123	0	384	0

(21)トン未満は四捨五入して四捨五入。ただし、セミガウスであれば小数点以下3桁まで記述は可。

今 年 度 【平 成 2 8 年 度】 目 次

登録番号	会社名	販売部番号	販売部長名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
名前						
販賣部販賣物を担当する部署を販賣物を販賣する支店の 名前						
大和製陶株式会社新潟工場	プライムセラミックス新潟工場	セセリ	セセリ	セセリ	セセリ	セセリ

(注1)トンネルは原則としておむすび入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記述は可。